

開かれた議会づくり検討小委員会報告書

令和 8 年 3 月 23 日

神奈川県議会 開かれた議会づくり検討小委員会

当会議において次の事項について検討した結果を、次のとおり報告する。

【検討事項】

開かれた議会づくりのための大学連携の取組

- ・ 包括協定に基づく関東学院大学との連携の取組
- ・ 県内の他の大学との連携の取組

1 趣旨

地方議会における議員のなり手不足や投票率の低さが大きな課題となっている中、地方議会に対する理解と関心を深め、多様な人材の参画を促すための取組を進めることが重要となっている。

本県議会では、特に、若者が地域や政治への関心や意欲を持てるように、昨年度（令和6年度）、大学生を対象とした新たな取組について検討し、令和7年4月、関東学院大学と包括協定を締結した。

今年度は、開かれた議会づくりのための大学連携の取組として、関東学院大学との包括協定に基づく取組を深めていくとともに、新たに県内の様々な大学との連携を進めていくため、令和7年6月26日に、開かれた議会づくりのための広報委員会（以下「広報委員会」という。）委員長（議長）から、「包括協定に基づく関東学院大学との連携の取組」及び「県内の他の大学との連携の取組」について検討するよう、開かれた議会づくり検討小委員会（以下「小委員会」という。）に依頼があり、検討を行ったものである。

2 検討経過

- ★ 包括協定に基づく関東学院大学との連携の取組
- 県内の他の大学との連携の取組

- 令和7年7月24日 ★●：小委員会において、今年度実施する「包括協定に基づく関東学院大学との連携の取組」及び「県内の他の大学との連携の取組」について協議、決定
- 7月25日 広報委員会に7月24日の小委員会における協議結果を報告、了承
- 8月1日 ★：関東学院大学図書館の利用に関する覚書を締結
- 9月1日 ★●：小委員会において、インターンシップ及び県内の他の大学への意見聴取について協議、決定
- (~12月中) ●：県内の他の大学への意見聴取を実施
- 9月10日] ★：インターンシップを実施（2日間）
- 11日]
- 9月18日 ★：小委員会において、第9回地域創生実践シンポジウム2025（関東学院大学地域創生実践研究所主催）について協議、決定
- 9月22日 広報委員会に9月18日の小委員会における協議結果を報告、了承
- 9月26日 ★：関東学院大学の授業科目公開に関する覚書を締結
- 10月7日 ★：小委員会において、大学生と県議会議員との意見交換会の概要について協議、決定
- 11月18日 ★：小委員会において、大学生と県議会議員との意見交換会について協議、決定
- 11月28日 ★：大学生と県議会議員との意見交換会を実施
- 12月22日 ★：第9回地域創生実践シンポジウム2025（関東学院大学地域創生実践研究所主催）に議員を派遣

令和7年12月9日
12月16日
令和8年1月13日
1月20日
1月27日

●：横浜国立大学の授業「かながわ地域学」に議員が参加（全5回）

3 包括協定に基づく関東学院大学との連携の取組について

(1) 関東学院大学図書館の利用

県議会議員の政策形成及び調査・研究の更なる推進のため、「神奈川県議会の図書館利用に関する覚書」を締結し、県議会議員及び議会局職員が関東学院大学図書館を無料で利用できることとした。

(2) インターンシップ（詳細は別紙参照）

関東学院大学法学部で実施している、自治体などの派遣先で職業体験をする公務員等就業体験というプログラムの一環として、本県議会でもインターンシップの受入れを行った。

(3) 関東学院大学の授業「かながわ学」の聴講

県議会議員の政策形成及び調査・研究の更なる推進のため、「神奈川県議会への関東学院大学の授業科目公開に関する覚書」を締結し、県議会議員が関東学院大学の授業「かながわ学」を聴講できることとした。

(4) 大学生と県議会議員との意見交換会（詳細は別紙参照）

昨年（令和6年）11月に、関東学院大学の大学生と県議会議員との意見交換会を試行として実施したところ、学生からも議員からも好評であった。

そこで、今年度も、学生に地方議会を身近に感じてもらうとともに、議員が学生のリアルな声を直接聞く機会として、大学生と県議会議員との意見交換会を実施した。

なお、今年度は、関東学院大学からの提案で、神奈川大学の学生も参加した。

(5) 第9回地域創生実践シンポジウム2025（関東学院大学地域創生実践研究所主催）への議員派遣（詳細は別紙参照）

関東学院大学では、地域創生実践シンポジウムと題したシンポジウムを平成29年から毎年開催している。本年は、テーマが「議員提案条例」で、関東学院大学から、横浜市会、横須賀市議会とともに、本県議会に議員の参加の依頼があった。

当シンポジウムへの参加は、包括協定の更なる強化につながるとともに、県議会の広報としての役割も期待されることから、県議会議員を派遣した。

また、関東学院大学から当シンポジウムへの後援の依頼があり、県議会として後援を行った。

4 県内の他の大学との連携の取組について

(1) 県内の他の大学への意見聴取の実施

ア 聴取先

神奈川大学、神奈川県立保健福祉大学、神奈川工科大学、東海大学、横浜国立大学及び横浜市立大学

イ 聴取内容

- ・ 大学生の地方議会や政治への関心の現状について
- ・ 大学生に地方議会に対する理解と関心を深めてもらうための取組について
- ・ 県議会との連携の可能性について

ウ 聴取結果

(ア) 大学生の地方議会や政治への関心の現状について

- ・ 現状、地方議会や政治への関心が高い学生は多くない。
- ・ 大学としても、学生が議員と接し、地域や政治への関心を高めることは重要であると考えている。

(イ) 大学生に地方議会に対する理解と関心を深めてもらうための取組について

- ・ 意見交換会やインターンシップは、学生と議員が直接コミュニケーションを取ることができる貴重な機会となる。
- ・ 大学によって、専門領域や規模、地域性の違いなどがあり、それぞれに合った連携の取組を行う必要がある。
- ・ まずは、政治に関連する研究室等から取組を始めていくのが現実的である。

(ウ) 県議会との連携の可能性について

- ・ 関係性を築いてから更なる広がりを探っていきたいと考えている大学が多い。
- ・ 協定ではなく、まずは具体的な取組から進めていく必要がある。

(2) 横浜国立大学の授業「かながわ地域学」への参加

横浜国立大学では、「かながわ地域学」の授業内で、学生が5名ほどのグループを作り、まちづくりに関わる事業・政策の実施や、エネルギー・お金の流れを、ボードゲーム（みんなのまちづくりゲーム「MINMACHI in cities」）を使って学ぶプログラムを実施している。

昨年度（令和6年度）に引き続き、今年度も、学生と県議会議員との交流の取組として、県議会議員がこのプログラムに参加した。

5 検討結果

(1) 包括協定に基づく関東学院大学との連携の取組について

令和7年4月に締結した関東学院大学との包括協定に基づく取組を深めていくため、大学側と、どのような取組を実施できるのか検討した。

インターンシップや意見交換会は、学生と議員が直接コミュニケーションを取ることができる貴重な機会となり、学生に地域や政治への関心や意欲を高めてもらう上で、有効な取組であった。

今後も、引き続きこれらの取組を継続的かつ発展的に進めていくべきと考える。

(2) 県内の他の大学との連携の取組について

新たに県内の様々な大学との連携を進めていくため、県内の6つの大学から意見を聴き、県議会との連携の可能性について検討した。

大学によって、専門領域や規模、地域性の違いなどがあり、それぞれに合った連携の取組を行う必要があるため、丁寧に大学の意見を確認していく必要がある。

大学の意見を踏まえると、まずは、具体的な取組を重ねていくことが重要であると考えられることから、今後は、実施可能な具体的な取組について検討し、着実に連携の取組を進めていくべきと考える。

以上

包括協定に基づく関東学院大学との連携の取組について

1 インターンシップ

(1) 日程

令和7年9月10日（水）・11日（木）の2日間

(2) 参加人数

6名

(3) 内容

- ・ 議会局の概要及び業務の説明
- ・ 本会議場、委員会室及び各庁舎の見学
- ・ 議会局の用務体験
- ・ 地方議会についての研修
- ・ 常任委員会の質問内容を考えるグループワーク
- ・ 議会局職員との意見交換
- ・ 議長、副議長との懇談
- ・ 会派控室の訪問及び議員との交流
- ・ 本会議傍聴 など

2 大学生と県議会議員との意見交換会

(1) 日程

令和7年11月28日（金）午後5時30分から午後7時25分まで

(2) 場所

議会大会議室（県庁新庁舎8階）

(3) 参加者

ア 大学

- ・ 関東学院大学 学生10名、教員3名
- ・ 神奈川大学 学生9名、教員2名

イ 県議会

- ・ 議長、副議長
- ・ 開かれた議会づくり検討小委員会委員 7名
- ・ 関東学院大学出身議員 4名
- ・ 神奈川大学出身議員 2名

(4) テーマ

地方議会を身近に感じるには何が必要か

(5) 実施方法

学生及び議員（議長・副議長を除く。）を5つのグループに分けて、グループワーク形式により、テーマについて意見交換を行い、結果を発表した。

3 第9回地域創生実践シンポジウム2025（関東学院大学地域創生実践研究所主催）への議員派遣

(1) 日程

令和7年12月22日（月）午後5時30分から午後8時まで

(2) 場所

関東学院大学横浜・関内キャンパス テンネー記念ホール

(3) 参加人数

約180名

(4) テーマ

議員提案条例を考える～地方議会活性化に向けて～

(5) 内容

第1部 基調講演：法政大学教授 廣瀬 克哉

「議員提案条例はどう作るべきか」を演題に、自治立法権と議会の立法機能、議員立法の効果、議員提案条例を作るに当たって注意すべきことなどについて講演があった。

第2部 パネルディスカッション

各議会の議員提案条例の制定状況、議員提案条例の実効性、条例に関わる市民等との関係、議会局や自治体執行部との役割・関係性、議員提案条例の今後の在り方・将来展望などについてディスカッションを行った。

パネリスト	神奈川県議会議員	しきだ 博昭
	横浜市議会議員	黒川 勝
	横須賀市議会議員	加藤 眞道（議長）
コメンテーター	法政大学教授	廣瀬 克哉
コーディネーター	関東学院大学教授	出石 稔

以上